



広報

かじき

昭和43年

第133号

新年のごあいさつ

町長 曾 木 隆 輝

あけましておめでとうございます。町民のみなさん、おすこやかに越年なさいましたことをおよろこび申しあげます。町もみなさんのご協力により、昭和四十二年を送り、さらに発展への新年を迎えられましたことを感謝いたします。苦しみも悲しみも乗り越えて、暖かいお正月を迎えられるのはうれしいことです。

ことしは明治百年になり、県でもいろいろな行事が行なわれます。町もただお祭りさわぎでなく、わたしたちの先輩がのこした大きな足あとを見つめながら、より豊かな問題が出てまいりましょう。絶対にガンバリとおしましよ。おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

な郷土とするために、つぎの時代に役立つしごとをしたいと思ひます。

みなさんもそれぞれ特別な元旦の計をおたてのことと思ひます。加治木は、いろいろな面でいま発展への足をふみ出したと申せましよう。したがって、大小さまざま

な問題が出てまいりましょう。絶対にガンバリとおしましよ。おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

絶対的にガンバリとおしましよ。おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

おたがい心の中に平和をもち、勇気を出して、どんな荒波も乗り越えて進みたいものです。人をとがめず傷つけず助け合いながら、みなさんのご幸福をお祈りします。

一般予算 三億五千三九六万四千円
累 計

町営プール設置条例など制定

昭和四十一年度決算を認定

定例第四回町議会

定例第四回町議会は、さる十二月十二日から二十三日までの十二日間わたって開かれ、昭和四十二年一般会計と国民健康保険特別会計の補正予算をはじめ、条例等の制定および改正、町の台所の

条例関係

▲議会議員その他非常勤委員の公務災害を補償する条例 ▲この条例は、議会やその他非常勤の職員（議員、監査委員、その他の委員）が公務上の災害（負傷、疾病、廃疾、死亡）を受けた場合その職員と遺族を補償することを目的として、こんど条例を制定したものです。

▲黒川団地（42年度建設分）の住宅料（家賃）きまる 町は黒川団地に一種八戸、二種十四戸を建設中でしたが、昨年末これが完成しましたので、この分の住宅料（家賃）月額を、一種が三、五〇〇円に二種を二、五〇〇円として決め、町営住宅管理条例に新しくつけ加えたものです。

▲住民税の課税方式の一部改正 老年者、障害者、寡婦、勤労学生がたの住民税は、その負担を少しでも軽減すること、計算された税額から該当者一人一、〇〇〇円を差引き（税額控除）していましたがこの改正によって昭和四十三年度の住民税は、所得額からそれぞれひとり五万円を差引く（所得控除）ことになりました。

▲町営プール設置条例を制定 ▲本町にも町営プールが完成したことはすでに承知のとおりですが、このプールは町民一般の体育およびスポーツの用に供することを目的として建設されたものであり、このためプール使用許可や使

用料等、今後の管理についてのきまりを設けたものです。

▲戸籍手数料が改正されました ▲一月一日から戸籍についての手数料がつきのとおり改正になりました。

▲戸籍簿や除籍簿または住民票の閲覧手数料は一件につき五〇〇円 ▲戸籍または住民票の謄抄本の交付手数料は一枚について五〇〇円 ●そのほか証明書の交付手数料一件について五〇〇円

予算関係

一般会計補正額 四三九万円を追加

今回の一般会計補正予算は四三九万円、このうち主なものは財産管理費（公団造林新植木夫賃ほか）五十一万九千円、農業振興費一五二万二千円、農単独農業構造改善事業費四五〇万円、農業構造改善事業費（みかん園造成線延べによる減）△六二四万九千円、道路橋りょう災害復旧費（西別府飯地坂）三三万二千円、小学校関係学校管理費一〇八万八千円などであり、一般会計の累計額は三億五千三九六万四千円となりました。

国民健康保険特別会計は補正予算三万八千円を追加して、累計額は五万六千三百八十八円となりました。主なものは一般管理費（国民健康保険だよりほか）二万二千円、納税奨励費（納税組合報償金として）二九万六千円であります。

決算関係

昭和四十一年度の一般会計、上

水道と国民健康保険の二特別会計の決算書は、町監査委員の審査意見書をつけて提出して、議会の認定を求めることになっております。このため議会で決算特別委員会を設けて審査に当たり、慎重に決算書を審議、検討した結果、適正な決算であると認め、最終本会議で昭和四十一年度一般会計、水道特別会計、国民健康保険特別会計の各決算は認定されました。各会計ごとの決算額は次のとおりです。

▲一般会計 ▲歳入（収入）三億七千九〇五万三千円、歳出（支出）三億五千二〇五万二千円（このほかに繰越し事業一五七万六千円）差し引き二千五四二万五千円の黒字で昭和四十二年度へ繰り越しとなりました ▲水道特別会計 ▲歳入（収入）一千七六七万円、歳出（支出）一千七二二万円で差し引き四五百円が昭和四十二年度へ繰り越しとなりました。

▲国民健康保険特別会計 ▲歳入（収入）五千二八五万四千円、歳出（支出）四千三三一万三千円、差し引き九七二万一千円が昭和四十二年度へ繰り越されました。内容についてくわしいことは広報かじき第一二八号（42・9・10発行）の「町の台所はどのようになまかなわれたか」記事で紹介しましたので、この紙上では省書します。

保険庁長官と知事から感謝状

下新道・岩原東国民年金納付組合

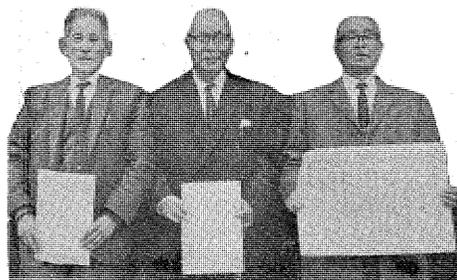
昭和四十一年度国民年金事業の成績優良市町村および優良納付組合に授与される知事の感謝状と社会保険庁長官の感謝状贈呈式が、さる十二月五日鹿児島市城山共済会館ホールで行なわれ、当町からは次の納付組合が表彰されました

■社会保険庁長官の感謝状
下新道納付組合代表 宮永栄治

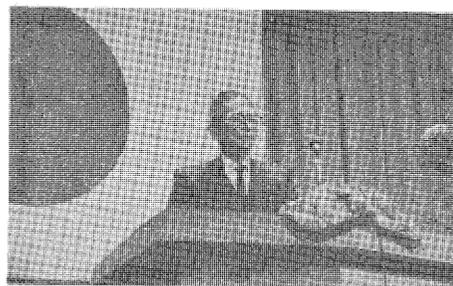
■知事の感謝状
1 岩原東納付組合代表中島信一
2 加治木町役場(事務関係)
納入実績九七・五パーセント

贈呈式のあと、表彰者二〇名の中から代表三名による体験発表がなされましたが、当町からも岩原東の納付組合長、中島信一さんが、その一人に選ばれ貴重な体験を発表しました。

この事業をよく理解し協力される町民のかたがたやよく働いてもらった町役場職員、部署の役員のかたがたのおかげです。と町長は感謝していました。
(写真向って左中島さん中央町長右宮永さん)



贈呈式を終えて



体験発表をする中島さん

「明治百年記念 懸賞論文募集」

1. テーマならびに内容

「加治木の未来像について」

—教育文化政治経済を中心として—

県下で初の町制を施行して満57年を迎え、ますます発展途にある当町であるが、今後どのような方向に進めばよいかひろく意見を求めるものである。

2. 文体形式

国語文当用漢字使用、原稿用紙(400字)

20枚以内

3. 応募資格

町内居住者、当町に本籍を有し他郷にある者。

4. しめきり 昭和43年3月15日

5. 送り先 町公民館内募集係

6. 発表 4月上旬

7. 賞金 特選1万円 佳作3千円

8. 著作権は主催者帰属、論文には、本籍、現住所、氏名、職業、生年月日を記入した紙片を添付のこと。

9. 募集主体

加治木町、町教育委員会

加治木税務署から

◆所得税源泉徴収税額の還付を受けるための確定申告は早目に

※昭和四十二年分の給与等にかかる所得税源泉徴収税額の還付を受けるための確定申告書は、昭和四十三年一月一日以降はいつでも提出することができます。

※二月末から三月中旬までは、一般の確定申告書の提出が多くなり、還付の手続きがおくれますので、源泉徴収税額の還付を受けるための確定申告書は、二月中旬までに提出されるようご協力ください。

◆庁舎が移転します。

庁舎新営のため昨年五月から町内新富町九八番地(町公民館)の仮庁舎で執務しておりましたが、いよいよ二月十日から新庁舎(元の位置)で執務することになりましたからお知らせします。

古い郵便年金

加入者の皆さまへ

ただいま昭和二十二年以前にご加入の郵便年金について、特別一時金の支払いが行なわれています。年金証書をお持ちの方や心あたりの方は、なるべく早目に郵便局へお申し出ください。

この特別な扱いは、昭和四十四年十二月三十一日までとなっております。

加治木郵便局

威風堂々の市中行進

日ごろの訓練を披らう

恒例の町消防団出ぞめ式は、一月十一日午前十時から加治木高校グラウンドで盛大に行なわれました。

式に先だつて午前九時消防団員は、パトカーや自衛隊ラッパ隊員の先導で高校グラウンドを出発、消防車六台を連れて威風堂々の市中行進を展開し、いたるところで観客の拍手を浴びました。

式に移り観閲や通常点検、小山田分団による訓練礼式、各分団による消防操法などを、きびきびした態度で参加者に披らうしました。放水演習では十数条の水柱が青空に向かつて大きな弧を描き、参加者たちの目を見はせました。



表彰式から

町長は団員を前に式辞のなかで「本町の消防力もその施設、設備等について年々充実しつつありますが、特に今年は明治百年の年に当たるので、本町も記念事業の一つとして、常設消防署の設置を考へております」と述べ「団員諸君も今後ますます消防活動に精勵し町民の生命、財産を火災から守ってほしい」と激励しました。

今年こそ火災のない一年でありたいものです。

当日、表彰を受けた方は次のとおりです。

- ▲始良、伊佐支部長表彰
寺師幸男 有川恭男 松尾利光
- ▲町長表彰
入部英行 小屋敷勝 沢崎菊男
白浜隆男 田中虎男 吉村次男
内村清美 鹿島一人 大野正治
- ▲勤続表彰
30年 森山吉次 20年 東木武一郎 外園貢 前田重夫 竹内敬一 吉村虎男 10年 鹿屋春男 岩下美晴 東輝男 入部英行 森木康弘 瀬戸口美信 白浜隆雄 樋口一利 福崎藤男 江口広光 川添隆 東木義男 内村利行 内村利夫 久木田虎二
- ▲永年勤続表彰(感謝状)
大宮路一行 隈原久義 福ヶ迫 幸男

▲報償金伝達(15年以上退職)
大宮路一行 隈原久義 福ヶ迫 幸男

▲消防分団表彰
西別府分団

▲感謝状(一般消防協力者)
森新藏(元中央分団地区消防後援会長) 山下純男(元小山田分団同) 前田等(元川農協支所長) 今村直行(桑迫) 長谷博義(加中三年) 浜屋敷芳夫

▲消防分団表彰
西別府分団

▲感謝状(一般消防協力者)
森新藏(元中央分団地区消防後援会長) 山下純男(元小山田分団同) 前田等(元川農協支所長) 今村直行(桑迫) 長谷博義(加中三年) 浜屋敷芳夫

▲退職慰勞金交付(5年/15年)
佐藤正光 今西光正 川添隆

酒を飲んだら運転しない

酒を飲んだら運転しない

酒酔い運転による事故は、例年死亡事故のトップを占めています。昭和四十二年一月から十月までの全国の死亡事故を原因別にみると、酒酔い運転が一、一六三件で全体の二パーセントを占めており、わき見運転の九四八件、最高速度違反の七三二件、追越し違反の六九二件、交差点の除行または一時停止違反の五〇二件等に比べると、はるかに多くなっています。そこで、危険な酒酔い運転を追放するため、次の点をよく注意することがかんじんです。

■酒酔い運転は、きわめて危険なことはいうまでもありません。道路交通法でも、体内に一定のアルコール分があると、酒気帯び運転として固く禁じています。

酒を飲んで運転すると①道路標識、障害物、歩行者、他の車などを見落したり、発見がおくれる。

町史談会に入会を

町史談会総会は、さる十二月十六日郷土館日本間に各会員が集まり規約を審議決定したあと役員を選出し、今後の運営方針など検討しました。その結果同会に入会を希望する人があれば、男女を問わず多数の入会を歓迎することをきめました。希望の方は、次の役員に相談してください。

役員は次のとおりです。

○会長 宮内虎雄 ○副会長 稲田進 ○庶務 会計 鈴木清彦 ○世話人 中摩仙 日野良兼、青山茂雄、入佐俊興、岩元武治。

○運転する前に酒を飲まない。飲酒運転はすべて生命にかかわる事故につながっています。わずかの酒で一生活を棒にふることは絶対にやめること。

○運転する人には酒をすすめない。まわりの人も飲酒運転がいかに危険なものかをよく知って運転者に酒をすすめないようにすること。

なお、運転者の場合と同様、歩行者が酒によって車道をふらついたり、信号を無視して横断をするなど、危険な行動が多くなるので、酒によっているときは、早く車で帰るか、いっしょに飲んだ人など周囲の者が最後まで責任をもって自宅へ送り届けるなど、してやりたいものです。

選挙人名簿の追加登録は三月です

新成人や未登録者は早目に

ことしの七月には、参議院議員通常選挙が予定されています。有権者であっても選挙人名簿に登録されていないと選挙のとき、投票することはできません。

もうすでに、ご存じでしょうが永久選挙人名簿は年に一回、三月と九月に追加登録(定期)することになっております。ことし三月追加登録の決定をされる有権者は

■規定の登録申出書(登録に関する証明書を含む)を提出した人で、三月一日までに引続き三か月以上、町内に住所がある満二十歳以上の有権者

と、なっております。しかし法によって選挙権を有しない人は除かれます。

三月に登録されないと、次は九月になります。まだ登録の申し出をしていない人(登録に関する証明書を提出していない人を含む)は早く選挙管理委員会に申し出てくださいます。申し出は本人または世帯主になっております。申し出がないといつまでも登録することはできません。とくに三月一日までに満二十歳になる「新成人」の人たちは、せっかく選挙権を得たのに申し出がないばかりに登録がされず、初選挙に投票することができません。忘れずに申し出(申出書)

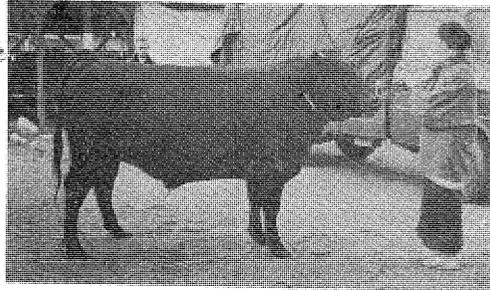
裏の居住証明をわけあわせをしってください。用紙は町役場の窓口にあります。

なお、加治木町で三月登録されなかった人は、七月の参議院議員の選挙のときは前の登録地に、不在者投票することができます。

畜産だより

肥育牛で好成绩：下枝さん

昨年十二月七日、県共進会で優勝の栄冠を勝ち取った木田西ノ原、下枝輝夫さん所有の肥育牛「実」号は、肉用素畜導入事業で四十二年十二月牧園市場で体重二三〇キ



県共進会出品「実号」

こんなところがわからない。もっと詳しく知りたい。いろいろあるかと思えます。いつでもお気軽においでください。

町選管では、お待ちしております

ログラム、価格二万八千円で購入したものです。

購入後一か月間は飼いならしを行ない、その後一期、二期、三期に分けて肥育を開始しました。四十二年十二月、販売までの一年間の飼料代は約七万六千二〇〇円となっており、販売時の体重は五六一キログラム、販売代金二万三千五〇〇円でした。

飼いならし後から販売までの一日増体量は一・二キログラムで、素牛の選定、管理の技術、飼料給与の三要素がそろって、よかつたためこのような、りっぱな成績が得られたものと考えます。

このほか今西美さん(楠園)地、久里時吉さん(小山田)の肥育牛も同じような飼いで、りっぱな成績を納めました。

成人と国民年金加入の義務

一月十五日は「成人の日」であり、全国各地で満二十歳になった人を祝う成人式が行なわれました。日本国民は、二十歳になると、法律的にも社会的にも一人前の人間としての扱いをうけ、名実ともに社会人として実社会へのスタートにあたっては、成人としての権利を得るとともに、義務も課せられることとなります。

国民年金に加入しなければならぬ義務も、その一つといえるでしょう。

国民年金は、二十歳から五十九歳までの日本国民で、厚生年金保険などに加入していない人たちは、必ず加入しなければならぬこととされており加入したときは、毎月二〇〇円の(三十五歳からは二五〇円)保険料をかけるければなりません。

この国民年金制度は将来の老齢、廃疾、死亡によって国民の経済生活がそなわれる不安な生活を年金によって保障しようとする制度であって、全国民を対象に国が行なっている事業です。二十歳になったばかりの若い人は、年金という遠い将来のものであると考えられがちで、今からその準備をしておくという気持ちに欠けており、国民年金の加入につ

いても、消極的であるというのが実情のようですが、自分自身の老後の保障については、若いうちから少しずつ準備していく心がけが必要で、最近のような交通事故戦争を考えると、老後のことだけではなく、いつ、どういふ事故に遭遇するかもしれない。このようなどきには、障害年金や母子年金、遺児年金などの年金給付によって保障されることでもありますから「成人の日」を機会に、もう一度国民年金制度の意義を考えてみたいものです。

国民年金に加入していない方はこの際、加入の手続きをしてください。加入の手続きは町役場の窓口で簡単に行なうことができますし、必要な届書等は町役場に備えつけられていますので、いますぐ届出をしていただきたいものです。

火の用心をもう一度

元を一度点検
家の火の元をもう一度点検
寝る前にもう一度点検
わが家の火の元をもう一度点検
特に、風呂の残り火、
プロパンの元を締め
しっかり締めておきましょう。

祝日には
戸毎に
国旗を
かかげましょう

本町の育英事業

奨学金による卒業生

すでに百七人が実社会へ

本町では、優秀な学生生徒で、経済的理由によって修学困難な者に、昭和三十一年度から奨学資金の貸付けをしています。この制度がはじまってから昭和四十三年一月までの奨学生総数は高校生九六六、大学生四八八、奨学資金貸与総額は、五八四万二千三〇〇円に及び、内五二万二千一百五円は篤志家の寄付によるものがあります。

篤志家の「寄付」に感謝

この制度がはじまって以来、町内篤志家のご厚意によって約五三万円の寄付が集まり、育英事業に大きくプラスしていますが、香典返しとしてご寄付される方がありましたら、奨学資金にもご惠贈くだされば幸いに存じます。篤志家のご厚意を願っております。

香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- 金額 御遺族 故人
- 三千円 山崎修代 (父五六)
- 朝日町
- 二千円 中馬秀夫 (義母アイ)
- 港町

- 一万円 吉原 原口清憲 (父清治)
- 千円 端山 鮫島フミ (夫隆)
- 二千円 新富町 井上忠光 (母アイ)
- 三千円 須崎 是枝快春 (父快弘)
- 三千円 萩原 桑幡 梅 (夫敏秀)
- 三千円 本町 佐藤泰士 (父慶蔵)

- 千円 茶屋屋 川原鉄也 (父力)
- 二千円 南沙入 岩田辰二 (三男稔利)
- 三千円 みるく 鹿屋ユイ (義母ヤエ)
- 中沙入 稀恒不二男 (伯父岡山竜太郎)
- 三千円 伊部野 日高 斌 (父国代)
- 五千円 東沙入 児玉チヘ (三男多喜雄)
- 五千円 西沙入 福永キク (夫新太郎)
- 二千円 辺川下 小宮路 進 (父直助)
- 五千円 永原 池田ナツエ (夫善蔵)
- 三千円 天神 井上富哉 (妻ふく)
- 五千円 於里 河野ひめ (夫進)
- 千円 永山 犬童照男 (父満雄)
- 五千円 曲田 岩崎 偉 (母ヨシ)
- 千円 上浜 越口浅吉 (母ハツギク)
- 二万円 里下 坂口秀志 (父親志)
- 三千円 永山 川原住可 (母ツマ)
- 三千円 川内 笹峯春雄 (祖父東木吉左エ門)
- 一万円

竹下 中摩一夫 (父直二) 同育英事業資金へ

竹下 中摩一夫 (父直二) 五万円

特志寄付

- 二千円 税務署 大岩根栄二
- 二千円 右同 宝蔵秋夫
- 千円 下新道 後野ふじ

以上三人の方から「町たすけあい資金」に昨年末寄付されたもので、税務署の用務員、大岩根栄二さん、宝蔵秋夫さんの二人は「日

ごろお世話になつてゐるから」と同署職員四十六人から二千元ずつの慰労金が贈られたものをそのままそっくり寄付。後野ふじさんからは、町内の恵まれない人たちのためにと毎年かかさずご寄付いただいているものです。

温い三人の篤志に心からお礼申し上げます。

毛 上 溝口直充

溝口直充さんは育英資金の一部に役立ててくださいと寄付されたものです。有難うございました。

一月二十六日までのご寄付を掲載いたしました。

おとなになつたことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます。当町の成人式は、例年よりも数十名も多し一六八名もの成人者を迎えて盛大に実施されました。

今年の特色は、神田、村山、近藤、内東の各成人者が成人した決意と喜びを堂々と発表して一同に感動を与え、さらに行船校長の司会で、犬童議長、宮原校長、母親代表の永田さん、

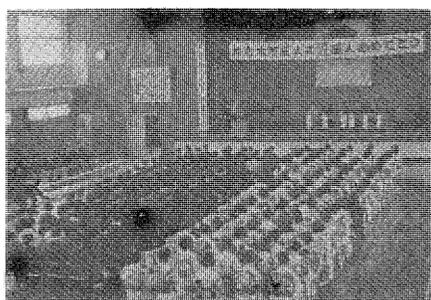
先輩代表の中村君、それに福島選管委員長のみなさんから、成人者を励ますお祝いのことがあつたことです。

記念品には社会人手帳を贈り、千寿会、絞木会の日本舞踊を觀賞して、記念撮影の後散会しました

晴れておとなの仲間入り

雪の中を168名参加

親代表の永田さん、



成人者へのぞむ座談会風景

夜の自転車事故防止に

スコッチライト 反射テープを

夜間における自転車事故の原因は、自動車運転者が夜間のため自転車の通行を確認できなかったこと、またはその発見が遅れたことに基因するものが多いのです。

このような実情から自転車に反射材料をはりつけることにより自動車運転者が、自転車の通行を早期に発見できるようにし、夜間の事故防止をはかることが必要だと思えます。

そこで、このたび自転車にスコッチライトをはる運動を実施し、

できるだけ多くの自転車にこれをはることによって夜間の自転車事故防止を推進していくことにしました。

県民のみならずのご協力をお願いします。

なお、スコッチライトの購入については、近くの交通安全協会事務局(警察署の受付)にお尋ねください。

●自転車一台分(一組)百円
●自転車走っているのが、わからなかった”

「自転車に気がついたときは、もう急ブレーキをかけても間に合わなかった」

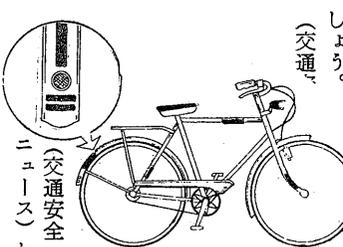
夜間の自転車事故の原因のほとんどすべてはこれです。自動車のスピードが速くなっただけ自転車も速くから目立つようにする必要があります。

●「スコッチライト」はドライバーの眼の方向へ自動車のヘッドライトの光をフレックス反射します。その明るさは、赤色で白色ペイント塗装面の五〇倍、

黄色で九五倍です。

●スコッチライトを図のようにはってあげば夜間でも自動車のドライバーは、はるから速くから自転車の存在がはっきりとわかります。

●交通事故が起きないように「スコッチライト」を自転車にはりましょう。



(交通安全 ニュース) から

明るい話題

保護世帯へ暖い贈り物

梅橋平覚さん

大みそかの晩は、年越しそばを食べて新年を迎えるのが古い習慣となつていますが、町内の貧しい家庭(約一〇〇世帯)に「よいお正月を迎えてください」と、毎年「年越しそば」を贈っているかたがあります。

このかたは町内本町で飲食店を経営している梅橋平覚さんで、暮れの三十一日に一世帯三たまつつ

農村青年建設班に

新聞をとどける

岩元武治さん

町内の農村青年建設班(農業後継者)二十名は、お互い農業技術を身につけ、経営上の問題点を相互研究し、人間関係を深めあうため、さる一月十七日から向う一か月間、高井田温泉飛竜閣で合宿研修をつづけていますが、これを知らした下浜の岩元武治さん(西日本新聞販売所)は「研修の教材にしてください」と、毎朝新聞を届けさせていただきます。この厚意に研修生一同感謝して、毎日の研修に励んでいます。

島津ひろし君の

デビュー近し

加治木町民歌、町民音頭の歌手である島津ひろし君のデビュー打ち合わせのため本部から至急上京するようにとの連絡があり、関係者が一月二十日上京し島津君のマネージャー、その他関係方面と諸事打ち合わせを終え、その結果がはつきりしましたのでお知らせします。

昨年八月、町民夏まつりに町民歌を披露以来、今日まで血のにじむような勉強に精出していました

ところ、その甲斐あっていよいよデビュー曲「母の面影」老中年向きと「恋の涙一青年向きの二曲が決定二月初旬に吹き込みすることになりました。

レコード発売前に本町を皮切りに、県内主要都市数か所東芝専属女性歌手二人と同道し、発表会を三月上旬開催することに決定しこれが打ち合わせのため、島津君とマネージャーが近く帰郷することになります。デビューの暁には

「スコッチライト」を自転車にはりましょう。

反土、城部落の前助役岩沢藤夫さん(76)は町長を通じ、未亡人会へ昨年未もまた五千元を寄付されました。

すでに十年近く引き続いて寄付しておられますが、未亡人会ではその厚意に感謝して、会員への貸付資金に当てています。